

穴が開くほど見る——建築写真から読み解く暮らしとその先 第4回

対談：乾久美子 × 島田陽

2018年12月3日(月) 18:00～20:00 LIXILショールーム大阪 セミナールーム

これまで、LIXILと月刊『新建築住宅特集』（新建築社）のコラボレーションで、玄関、床、間仕切り、水まわり、窓、暮らし、環境、扉など「住宅」にまつわるさまざまな企画を進めてきました。

この中の「暮らし」にまつわる新しい企画として「穴が開くほど見る——建築写真から読み解く暮らしとその先」と題し、「暮らし」という視点をさらに掘り下げる企画を展開しています。これは、歴史的な名住宅を撮影した1枚の建築写真から読み取れるさまざまなモノやコトを深掘りして、建築と暮らしの関係、時代と暮らしの関係などを読み解くものです。

第1回は塚本由晴氏と五十嵐淳氏を迎え、昨年11月14日に札幌のLIXIL北海道支社で公開対談を行い、『新建築住宅特集』2月号で掲載、第2回は西沢大良氏と木村吉成氏を迎え、1月16日にLIXIL京都ショールームで公開対談を行い3月号で掲載、第3回は内藤廣氏と藤村龍至氏を迎え、6月12日に東京のLIXIL：GINZAで公開対談を行い8月号で掲載いたしました。

この第4弾として、建築家の乾久美子氏と島田陽氏に建築写真を読み取っていただきます。

住宅には、「豊かさ」「やすらぎ」「コミュニケーション」「安心・安全」「家開き・住み開き」など、さまざまな「暮らし」にまつわる視点があります。歴史的に有名な住宅には、そのヒントが数多く潜んでいますので、それらを1枚の写真から読み取っていただきます。さらに、未来の「暮らし」につながる視点も話し合ってください。

乾久美子（建築家、横浜国立大学大学院Y-GSA教授）



1969年大阪府生まれ／1992年東京藝術大学美術学部建築科卒業／1996年イェール大学大学院建築学部修了／1996～2000年青木淳建築計画事務所勤務／2000年乾久美子建築設計事務所設立／2011～2016年東京藝術大学美術学部建築科准教授／2016年～横浜国立大学大学院Y-GSA教授

島田陽（建築家、京都造形芸術大学客員教授）



1972年兵庫県神戸市生まれ／1995年京都市立芸術大学環境デザイン科卒業／1997年同大学大学院修士課程修了／1997年トアーキテツツ／島田陽建築設計事務所設立／2016年～京都造形芸術大学客員教授／現在、昭和女子大学、神戸大学、神戸芸術工科大学、大阪市立大学等非常勤講師

日時：2018年12月3日(月) 18:00～20:00（受付17:30～）

会場：LIXILショールーム大阪 セミナールーム

（大阪府大阪市北区大深町4-20

グランフロント大阪南館タワー A11階）

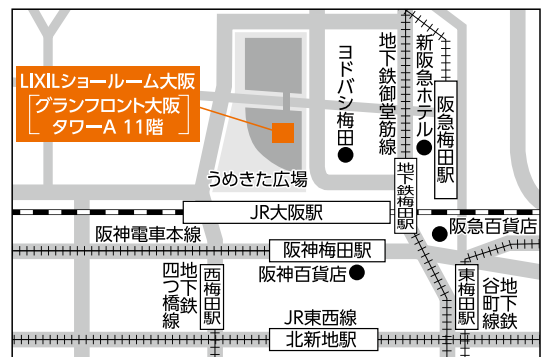
定員：50名（申し込み先着順）

お申し込み方法

下記URL「LIXILビジネス情報サイト」よりお申し込みください。

LIXILビジネス情報サイト

<https://www2.biz-lixil.com/seminar/detail/id=5733>



最寄り駅

JR大阪駅、JR東西線 北新地駅

阪急電鉄梅田駅

阪神電鉄梅田駅

地下鉄梅田駅、東梅田駅、西梅田駅

駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。